

また行きたいハワイ合宿！ 空手を通じた国際交流も経験できる

本学では9月24日から、部活動やサークルの課外活動の一部制限を緩和。空手道部は10月から道場での稽古を再開できることになり、コロナ対策に気を付けながらも、空手ができる楽しさが戻ってきました^{*}。同時に部にとってはこの時期まで叶わなかった、新入生の補充が最優先事項にあるようです。部長の李君は「何名か入部してくれそうですが、例年より少なくなりそう。部の存続にも関わってくるので、補充をしっかりやっていきたい。今は2021年度への準備期間と捉えています。基本的な稽古から気を引き締めていきたいですね」。

コロナ禍で昨年は実現できませんでしたが、じつは空手道部には大会以外に部員一同が楽しみにしているハワイ合宿があります。「ハワイ合宿は空手道部の部員募集のアピールにもなる一大イベントです。部員の中にはハワイ合宿を目当て



2019年のハワイ合宿の様子。ビーチで空手の形を披露する姿は空手道部ならではの入り部した人もいますよ。海でワイワイするのも楽しいのですが、2019年はハワイの国際松濤館の道場開きに参加して、現地の流派の方々と交流することができました。こうした国際的な経験も有意義です。コロナ禍が収束して、また安心してハワイで合宿できる日が来るといいですね(鈴木さん)。

何でも話し合えて風通しがよく、認めあえる仲間に成長していく

空手道部は部員募集から日々の鍛錬、ハードな合宿、大会の真剣勝負を通じて部員同士の結束が深まり、かけがえのない仲間になっていくようです。「部長の李君は、俺について来いと引っ張っていく頼れるリーダー。就職活動も誰よりも進んでいて、いつも感心しています」(山岸君)。そう話す山岸君は、周囲も認める空手道部一の空手好き。「ひたむきで向上心がすごい。それに誰とでも仲良くなれるムードメーカーで、気配りもできるんです」(近藤君)。空手道部の雰囲気は魅か

れて入部したという鈴木さんについて、「彼女は周囲に目が行き渡り、人のことをよく理解してくれる。地道に努力を積み重ねる姿も、後輩のお手本になる」、と李君は頼りにしています。近藤君は文武両道を象徴するような存在だとか。「とにかく真面目。空手も学業も一切手を抜かない。ときに真面目すぎて、『要領がよくないね』って、笑い合うこともあります」(鈴木さん)。こうして屈託なく話せるように、空手道部の絆は堅固。コロナ禍も力を合わせて乗り越えていけそうです。



2019年のハワイ合宿では、国際松濤館空手道連盟ハワイ支部の道場開きに参加